

第 38 回日本生理心理学会大会 プログラム

日時:2020 年 5 月 23 日(土)-5 月 24 日(日) 会場:東広島芸術文化ホール くらら

講演およびシンポジウム (小ホール)

----- 大会 1 日目 5 月 23 日 (土) -----

シンポジウム I 「スポーツと生理心理学」…………… 14:00 ~ 16:00

企画・司会: 坂田 省吾 (広島大学)

話題提供: 正木 宏明 (早稲田大学)
長谷川 博 (広島大学)
手塚 洋介 (大阪体育大学)

特別講演「外套は皮か? -Pallium と Cortex の進化を考える-」

…………… 16:15 ~ 17:45

講演: 渡辺 茂 (慶応義塾大学名誉教授)

司会: 坂田 省吾 (広島大学)

----- 大会 2 日目 5 月 24 日 (日) -----

シンポジウム II 「自発的な生理・認知的活動から心をつめる」

…………… 9:45 ~ 11:45

企画: 中尾 敬 (広島大学)
小川 景子 (広島大学)

司会: 中尾 敬 (広島大学)

話題提供: 小野田 慶一 (追手門学院大学)
山岡 明奈 (沖縄国際大学)
阿部 高志 (筑波大学)

指定討論: 大平 英樹 (名古屋大学)

諸会議

----- 大会前日 5月22日(金) -----		
編集委員会	(2F 208/209).....	14:30 ~ 16:00
理事会	(2F 208/209).....	16:00 ~ 17:30
----- 大会1日目 5月23日(土) -----		
評議員会	(2F 208/209).....	12:00 ~ 13:00
----- 大会2日目 5月24日(日) -----		
総会	(小ホール).....	12:00 ~ 13:00

懇親会・若手会

----- 大会1日目 5月23日(土) -----		
真昼の若手会	(小ホール).....	12:00 ~ 13:45
懇親会	(ソラオト).....	18:00 ~ 20:00

ポスター発表 1 (サロンホール) (発表番号:P1-1~34)

2020年5月23日(土) 9:45~11:45

在籍責任時間 奇数番号:9:45~10:45 / 偶数番号:10:45~11:45

P1-1

項目の省略が隠匿情報検査時の生理活動に及ぼす影響

小川時洋 科学警察研究所法科学第四部情報科学第一研究室
常岡充子 科学警察研究所法科学第四部情報科学第一研究室

P1-2

小標本生理データの統計的検定—CITデータに対する確率化テストの応用—

大浜強志 山口県警察本部刑事部科学捜査研究所
小野修一 山口県警察本部刑事部科学捜査研究所

P1-3

自己・他者に関する未来思考における感情処理と個人差: 心拍誘発電位を用いた検討

伊藤友一 慶應義塾大学/日本学術振興会
田仲祐登 慶應義塾大学
辻 幸樹 慶應義塾大学/日本学術振興会
品川和志 慶應義塾大学
柴田みどり 慶應義塾大学
寺澤悠理 慶應義塾大学
梅田 聡 慶應義塾大学

P1-4

ペース呼吸時の呼吸位相が情動刺激の覚醒度評定に与える効果

水原啓太 大阪大学大学院人間科学研究科
入戸野 宏 大阪大学大学院人間科学研究科

P1-5

心拍変動バイオフィードバックの訓練回数がスピーチ不安に与える影響

鎌田珠吏 日本大学大学院文学研究科
齋藤慶典 日本大学文理学部

P1-6

安静時収縮期血圧と排斥経験により生じる社会的痛みとの関連

伊崎 翼 産業技術総合研究所
石井 圭 産業技術総合研究所
浅原亮太 産業技術総合研究所
小峰秀彦 産業技術総合研究所

P1-7

課題の習熟度に伴う生理的反応の変化に関する縦断的検討(1)

ー前頭部 θ 帯域からの検討ー

川島哲史 日本大学大学院文学研究
伊藤 栞 日本大学大学院文学研究
依田麻子 日本大学文理学部

P1-8

課題の習熟度に伴う生理的反応の変化に関する縦断的研究(2)

ー心拍数・呼吸数からの検討ー

伊藤 栞 日本大学大学院文学研究科
川島哲史 日本大学大学院文学研究科
依田麻子 日本大学文理学部

P1-9

教師の経験や知識は学習者観察の視点に違いをもたらすのか

ー筆算観察時の視線計測ー

岡本尚子 立命館大学産業社会学部
黒田恭史 京都教育大学教育学部

P1-10

課題の楽しさ, 難しさ, 取り組みをフロー, メンタルワークロード, 心拍数から探る

本多麻子 東京成徳大学応用心理学部

P1-11

NIRS と自律神経指標による日常の疲労感の評価

今村千絵 トヨタ自動車未来創生センター
榊原清美 トヨタ自動車未来創生センター
荒井恭祐 トヨタ自動車未来創生センター
山田 整 トヨタ自動車未来創生センター
大平英樹 名古屋大学大学院情報学研究科
山口雄平 トヨタ自動車未来創生センター

P1-12

顔面の赤みを利用した非接触脳活動センシング法の開発

小谷泰則 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
大上淑美 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
松原 聡 ダイキン工業
平山喬弘 ダイキン工業
橋詰英希 ダイキン工業
新井潤一郎 ダイキン工業
後藤尚志 ダイキン工業

P1-13

ゆらぎを含む光・音・気流・香りを用いた短時間仮眠が眠気、作業記憶およびストレスに与える効果について

藤岡靖大	広島国際大学心理学部
杉原光哉	広島国際大学心理学部
藤原ゆり	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
池淵昌幸	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
脇 有紀	パナソニック株式会社ライフソリューションズ社
田中秀樹	広島国際大学心理学部

P1-14

アクチウォッチによる睡眠・覚醒判定の精度に関する検討

岡部聡美	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構/ 筑波大学人間総合科学研究科
鈴木陽子	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
範 志偉	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構
姜 力柯	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構/ 筑波大学人間総合科学研究科
阿部高志	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構

P1-15

中学生における Social jetlag と眠気、心身健康、学業成績の低下との関連

田村典久	広島大学教育学研究科
田中秀樹	広島国際大学
駒田陽子	明治薬科大学
井上雄一	東京医科大学

P1-16

午後の眠気対策としてのコーヒーナップの効果

林 光緒	広島大学大学院総合科学研究科
阿部 謙	広島大学総合科学部

P1-17

笑いを含む快眠教室が高齢者のレジリエンス及び不眠、抑うつ、自尊感情に与える効果

田中秀樹	広島国際大学心理学部
大本日向乃	広島国際大学心理学部
白石恵子	広島国際大学心理学部
藤岡靖大	広島国際大学心理学部

P1-18

ヘッドセット型簡易脳波計による陰性緩電位の個人内変動の計測

小崎瑞貴 東海光学株式会社
水野 嶺 東海光学株式会社
鈴木雅也 東海光学株式会社
乾 幸二 愛知県医療療育総合センター発達障害研究所

P1-19

柔らかさへの接触によって生じる期待は過剰受容に応じて増加する

—Cyberball 課題を用いた検討—

池田利基 筑波大学大学院人間総合科学研究科/
産業技術総合研究所情報・人間工学領域
武田裕司 筑波大学大学院人間総合科学研究科/
産業技術総合研究所情報・人間工学領域

P1-20

連続的な動作によって生じた聴覚刺激に対する事象関連脳電位の減衰

杉本史恵 産業技術総合研究所
木村元洋 産業技術総合研究所
武田裕司 産業技術総合研究所

P1-21

視覚体性感覚間の空間的予測に対する身体座標の影響

木村 司 大阪大学産業科学研究所

P1-22

実環境およびバーチャルリアリティ環境下における身体への振動刺激に対する脳波成分の検討

金山範明 産業技術総合研究所
原 正之 埼玉大学
木村健太 産業技術総合研究所

P1-23

注意のはたらきに Snoezelen 環境は影響するのか

橋本 翠 吉備国際大学心理学部/吉備国際大学心理発達総合研究センター
小西賢三 吉備国際大学心理学部

P1-24

心周期と同期した聴覚刺激への反応 —事象関連電位を用いた検討—

田仲祐登 慶應義塾大学社会学研究科
伊藤友一 慶應義塾大学文学部/日本学術振興会特別研究員
柴田みどり 慶應義塾先端研究センター
寺澤悠理 慶應義塾大学文学部
梅田 聡 慶應義塾大学文学部

P1-25

コンピュータゲームの難易度が無関連プローブ音に対する事象関連電位に及ぼす効果

入戸野 宏 大阪大学大学院人間科学研究科
下西啓一郎 大阪大学人間科学部

P1-26

事象関連電位からみた調性感

佐藤大介 茨城大学大学院教育学研究科
田原 敬 茨城大学教育学部
勝二博亮 茨城大学教育学部

P1-27

主旋律が和音の統語処理に及ぼす効果：バス声部を主旋律とした検討

石田 海 大阪大学大学院人間科学研究科
池田一成 東京学芸大学教育学部
入戸野 宏 大阪大学大学院人間科学研究科

P1-28

デジタル音源のダウンサンプリングに伴う音の歪みの知覚と聴性脳幹反応

大湾麻衣 大阪大学大学院人間科学研究科
入戸野 宏 大阪大学大学院人間科学研究科

P1-29

音声刺激の予期は刺激先行陰性電位 (SPN) の前期成分を賦活させる

大上淑美 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
小谷泰則 東京工業大学リベラルアーツ研究教育院
吉田宜清 東京大学医科学研究所
國松 聡 東京大学医科学研究所
桐生 茂 国際医療福祉大学医学部
井上優介 北里大学医学部

P1-30

予測誤差の大きさと視覚ミスマッチ陰性電位の関係

木村 元洋 産業技術総合研究所

P1-31

異なる 2 時点で提示された複数物体の数的統合過程の検討

宇野智己 国立障害者リハビリテーションセンター研究所/北海道大学
玉田拓海 北海道大学
関 あゆみ 北海道大学

P1-32

ラベンダー芳香とストレッチングが柔軟性におよぼす影響

加藤みわ子 広島都市学園大学健康科学部
西村あかね 広島都市学園大学健康科学部
伊藤康宏 藤田医科大学医療科学部
田丸政男 広島都市学園大学健康科学部

P1-33

筋硬度計を用いた肩こり弛緩の評価

内田誠也 一般財団法人 MOA 健康科学センター
山岡 淳 一般財団法人 MOA 健康科学センター

P1-34

**高齢化社会における近年の異常気象の健康への影響
その真の自律神経機能と音楽 McT 療法の効果**

後藤幸生 一宮研伸看護大学

ポスター発表 2 (サロンホール) (発表番号:P2-1~36)

2020年5月24日(日) 13:15~15:15

在籍責任時間 奇数番号:13:15~14:15 / 偶数番号:14:15~15:15

P2-1

異なる動物種の画像提示によってもたらされるリラクゼーション効果

水田敏郎	仁愛大学人間学部
森本文人	仁愛大学人間学部
大森慈子	仁愛大学人間学部

P2-2

アクアリウムによるリラクゼーション効果 —人工クラゲを用いた検討—

大森慈子	仁愛大学人間学部
森本文人	仁愛大学人間学部
水田敏郎	仁愛大学人間学部

P2-3

重症心身障害児における持続的な快・不快環境音聴取時の瞬目および心拍

宮地弘一郎	信州大学教育学系
橋口瑤子	筑波大学人間総合科学研究科

P2-4

発達障害児における瞬目抑制・発生のタイミング

福田恭介	福岡県立大学人間社会学部
吉岡和子	福岡県立大学人間社会学部
早見武人	岡山大学大学院自然科学研究科
松尾太加志	北九州市立大学
志堂寺和則	九州大学大学院システム情報科学研究院

P2-5

自閉スペクトラム症児における統合想起課題時の脳波コヒーレンスと児童用 AQ の検討

高橋由子	高知大学総合人間自然科学研究科医学専攻
満田直美	高知大学医学部環境医学教室
寺田信一	高知大学教育学部門
藤枝幹也	高知大学臨床医学部門

P2-6

子どもの嘘に現れる腹外側前頭前野活動

岸 靖亮	近畿大学豊岡短期大学
後藤広太郎	東京農業大学生物産業学部
為貝莉穂	東京農業大学生物産業学部

P2-7

Stop-signal 課題における Go 刺激と Stop 刺激の組合せが反応制御過程に及ぼす影響の生理心理学的検討

中野泰伺 筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
岡崎慎治 筑波大学人間系

P2-8

13 歳児における随伴性陰性変動と胎児期の有機フッ素化合物曝露濃度との関連：北海道スタディ

山崎圭子 北海道大学環境健康科学研究教育センター
岸 玲子 北海道大学環境健康科学研究教育センター

P2-9

唾液指標を用いた妊娠期女性のストレス状態および子どもの社会性と気質の検討

肥後克己 立命館大学 R-GIRO
岡本尚子 立命館大学産業社会学部
孫 怡 立命館大学 R-GIRO
妹尾麻美 立命館大学 R-GIRO
神崎真実 立命館大学 R-GIRO
川本静香 山梨大学教育学部
中田友貴 立命館大学文学研究科
李 星鎬 立命館大学人間科学研究科
矢藤優子 立命館大学総合心理学部
安田裕子 立命館大学総合心理学部
サトウタツヤ 立命館大学総合心理学部
鈴木華子 立命館大学総合心理学部

P2-10

EL マウス(ADHD モデル動物)の脳皮質におけるミスマッチ陰性電位様反応

麦島 剛 福岡県大
久保浩明 九州大
石川鴻志 福岡県大
森寺亜伊子 産業医大
井上真澄 産業医大
東 華岳 産業医大
吉井光信 東京都医学研
榛葉俊一 東京都医学研

P2-11

ラットの時間的順序記憶における内側前頭前野グルタミン酸受容体の役割

梶田麻菜美 筑波大学人間系
山田一夫 筑波大学人間系
一谷幸男 筑波大学人間系

P2-12

ラットの援助行動におけるセロトニンの役割

佐藤暢哉	関西学院大学文学部
岡 麻耶	関西学院大学大学院文学研究科
山岸厚仁	関西学院大学大学院文学研究科

P2-13

共感場面における顔血流と指尖血流の関連性の検討

石川直樹	慶應義塾大学社会学研究科
朝比奈正人	脳神経内科津田沼
梅田 聡	慶應義塾大学文学部

P2-14

近赤外線分光法を用いた対人会話場面の脳活動計測

田原 敬	茨城大学教育学部
石原真優子	茨城大学特別支援教育特別専攻科
久保愛恵	筑波大学大学院
勝二博亮	茨城大学教育学部

P2-15

課題非関連の表情の符号化や注意捕捉は共感特性の程度によって異なる

片山夏果	関西学院大学大学院文学研究科
片山順一	関西学院大学文学部/関西学院大学応用心理科学研究センター

P2-16

バランスのとれた時間的展望と自発的脳波の自己相関の持続性との関連

橋本淳也	広島大学大学院教育学研究科
小林亮太	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
柏原志保	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
本多 樹	広島大学大学院教育学研究科
朱 建宏	広島大学大学院教育学研究科
原口優輔	広島大学大学院教育学研究科
山本一希	広島大学大学院教育学研究科
岩佐康弘	広島大学大学院教育学研究科
中川莉沙	広島大学大学院教育学研究科
庵野真代	広島大学教育学部
孫 玥澤	広島大学大学院教育学研究科
難波修史	広島大学大学院教育学研究科
中尾 敬	広島大学大学院教育学研究科

P2-17

リアリティ・モニタリング・エラー経験頻度と自発脳波のピーク周波数の関連

柏原志保	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
小林亮太	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
橋本淳也	広島大学大学院教育学研究科
本多 樹	広島大学大学院教育学研究科
朱 建宏	広島大学大学院教育学研究科
原口優輔	広島大学大学院教育学研究科
山本一希	広島大学大学院教育学研究科
岩佐康弘	広島大学大学院教育学研究科
中川莉沙	広島大学大学院教育学研究科
庵野真代	広島大学教育学部
河原 剛	広島大学大学院教育学研究科
孫 玥澤	広島大学大学院教育学研究科
難波修史	広島大学大学院教育学研究科
中尾 敬	広島大学大学院教育学研究科

P2-18

直観的情報処理スタイルと自発的脳活動との関連

朱 建宏	広島大学大学院教育学研究科
小林亮太	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
本多 樹	広島大学大学院教育学研究科
橋本淳也	広島大学大学院教育学研究科
柏原志保	広島大学大学院教育学研究科/ 日本学術振興会
岩佐康弘	広島大学大学院教育学研究科
山本一希	広島大学大学院教育学研究科
庵野真代	広島大学教育学部
河原 剛	広島大学大学院教育学研究科
中川莉沙	広島大学大学院教育学研究科
原口優輔	広島大学大学院教育学研究科
中尾 敬	広島大学大学院教育学研究科

P2-19

有酸素運動と記憶・注意機能および腹外側前頭前野活動の関連について

後藤広太郎	東京農業大学生物産業学部教職課程
為貝莉穂	東京農業大学生物産業学部食香粧化学科
前橋咲子	東京農業大学生物産業学部食香粧化学科

P2-20

ラベンダーの濃度を調整することで注意持続・選択的注意パフォーマンスは向上するの

軍司真究	東京農業大学大学院生物産業学研究科食品香粧学専攻
為貝莉穂	東京農業大学生物産業学部食香粧化学科
田村 俊	東京農業大学生物産業学部食香粧化学科
後藤広太郎	東京農業大学生物産業学部教職課程

P2-21

theta/beta ratio は注意制御を反映するか - 脅威への注意バイアスにおける検討 -

基上雄太	仁愛大学人間学部
森本文人	仁愛大学人間学部

P2-22

主観的感情に応じた表情制御に伴う事象関連電位の変化

嵩原広宙	広島国際大学大学院医療・福祉科学研究科
岩城達也	駒澤大学文学部

P2-23

作り笑顔の維持によるエラー生起時への影響

森本文人	仁愛大学人間学部
大森慈子	仁愛大学人間学部
水田敏郎	仁愛大学人間学部

P2-24

抑うつの程度とコントラスト判断の事象関連電位検討

竹内成生	上武大学ビジネス情報学部
関口浩文	静岡大学創造科学技術大学院
宮崎 真	静岡大学情報学部

P2-25

顔写真を用いた SCIT におけるカウンタメジャーの影響 - P300 を指標として -

岡崎麻依	福山大学大学院人間科学研究科
平 伸二	福山大学人間文化学部

P2-26

後期陽性電位が反映する情動処理過程に関する検討: 画像の呈示時間に着目した検討

黒原玄弥	広島大学大学院総合科学研究科
小川景子	広島大学大学院総合科学研究科

P2-27

心拍誘発電位を用いた動的刺激として呈示される異性・同性の身体的魅力の評価

伏田幸平	関西学院大学大学院文学研究科
片山順一	関西学院大学文学部/関西学院大学応用心理科学研究センター

P2-28

妬み感情の種類が注意に及ぼす影響 —ERP を用いた検討—

藤嶋美幸 筑波大学大学院人間総合科学研究科
武田裕司 産業技術総合研究所

P2-29

「なぞかけ」とERP を用いたユーモア感受過程の検討

真田原行 日本学術振興会/関西学院大学文学部
熊谷有紗 関西学院大学文学部
片山順一 関西学院大学文学部/関西学院大学応用心理科学研究センター

P2-30

気分が快不快判断時の認知処理に及ぼす影響

和田恵里佳 広島大学大学院人間社会科学研究科
小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科

P2-31

かわいさの程度を操作した幼児顔に対する事象関連電位

熊谷美雪 大阪大学大学院人間科学研究科
入戸野 宏 大阪大学大学院人間科学研究科

P2-32

唇の色が顔知覚とP1 とN170 成分に与える効果

田中秀明 追手門学院大学心理学部

P2-33

顔の一致・不一致判断課題に関するN250r 成分の検討

山田悠介 広島大学大学院人間社会科学研究科
小川景子 広島大学大学院人間社会科学研究科

P2-34

点眼剤の清涼感が視覚刺激に対する注意資源配分量に及ぼす影響の検討

石井主税 関西学院大学大学院文学研究科/
関西学院大学応用心理科学研究センター
太田羽藍 ロート製薬株式会社
堀田敏行 ロート製薬株式会社
清林由佳 ロート製薬株式会社
片山順一 関西学院大学文学部/関西学院大学応用心理科学研究センター

P2-35

情動が時間知覚に与える影響：事象関連電位を用いた検討

加戸 瞭介 産業技術総合研究所/日本学術振興会

武田 裕司 産業技術総合研究所

梅田 聡 慶應義塾大学

P2-36

感情刺激への注意が affective bias に与える影響について

朱 安琪 筑波大学人間総合科学研究科/産業技術総合研究所

武田 裕司 筑波大学人間総合科学研究科/産業技術総合研究所